▲4月24日の合同発表会でくまモンと共にポーズを取るOMO5 by 星野リゾートの磯部竜総支配人（左）。右は都市観光を盛り上げる同ホテルのスタッフ「OMOレンジャー」

▲スタッフが実際に街を歩いて集めたレストランやカフェ、ショッピングなどの情報が載る「Go-KINJO MAP（ご近所マップ）」

OMO5熊本 by 星野リゾート

観光発信拠点へ

一方、「OMO5熊本」は、同ホテル含め全国に14の施設を展開する都市型観光ホテルブランドOMOの一つで、九州初進出。熊本弁の「わさもん」になぞらえて、新しいものが次々と生まれる様子を表した造語「わさラッシュ！城下マチ」をテーマに据えた。

ホテルの象徴となるのは、熊本城を望む屋外テラス「凸凹（でこぼこ）テラス」で、熊本城の城郭をイメージした3段状のデザインが特徴。同テラスのある「OMOベース」は旅の拠点となる場所で、テラス以外にも熊本の特産品を使用したメニューがあるカフェや、ガイドブックには掲載されていない情報を集めた「GO-KINJO MAP（ご近所マップ）」などもあり、街歩きを楽しむためのサービスが充実している。

客室は全160室。OMOの中でも初登場の、ベッドの間にある円卓をイメージしたテーブルが特徴の「えんたくルーム」（客室面積22㎡）や、定員6人の「OMOハウス」（同49㎡）、OMOブランドの代表的な客室タイプの「やぐらルーム」（同22、26～29㎡）など、8タイプの客室がある。

同ホテルの磯部竜（りょう）総支配人は、「熊本の皆さんに親しまれてきた旧パルコ跡地という一等地に進出するにあたり、ハイセンスな街の雰囲気や、こだわり溢れる近隣の魅力にどっぷりとつかってもらいたい。まずは熊本の方にご利用いただき、宿泊だけでなく、日常の中でも使ってもらえるような場所にしていきたい」と抱負を語った。

（142ページに合同発表・先行内覧会あいさつ要旨掲載＝企画開発部・澤井菜月、編集部・山岸千紘）

▲電車通りに面し、熊本城を一望できる「凸凹テラス」

▶同テラスは茶臼山に沿って建てられた熊本城の城郭をイメージしている

街歩きを楽しむ

▲OMOブランドで初めて誕生した「えんたくルーム」

▲3世帯やグループでの旅行に利用できる定員6人の「OMOハウス」

グラビア_OMO5熊本.indd　すべてのページ　2023/05/22　14:31